

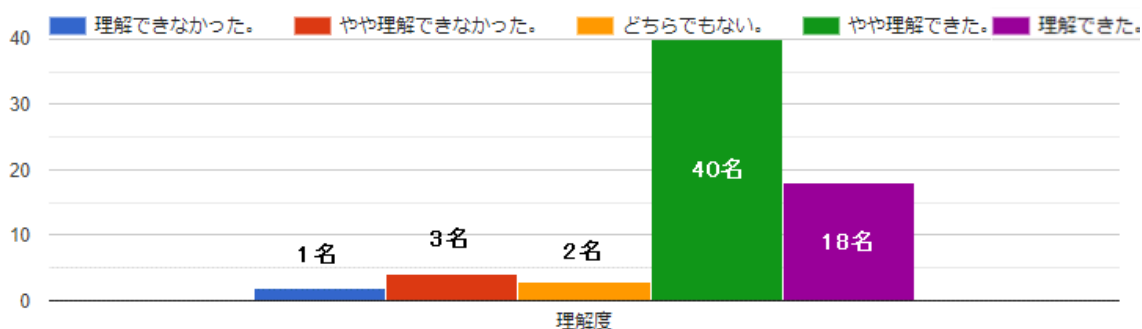
# 2021 年度 愛臨技生物化学分析検査研究班 10 月基礎講座レポート

2021 年 12 月 4 日

## ライブ配信

### アンケート 1

「精度管理の考え方」の講義に対する理解度



レポート提出 64 名中、約 9 割と多くの方が理解できたとご回答いただきました。

### アンケート 2

「精度管理の考え方」の講義に対するご意見等ご記入ください（一例）

- ◇ 精度管理については、いつも大変難しく、日々苦勞しています。ひとつひとつ丁寧に、原因究明するためにとっても参考になりました。
- ◇ 勉強になりました。基礎知識がない状態での視聴だったため、わかりやすい講義でしたが、理解が追いつかない部分もあり、これから少しずつ勉強していきたいと思います。
- ◇ 精密さ、正確さの基礎、精度管理幅の具体的な設定について、非常に参考になった。自施設にフィードバックできる内容があったので、検討していきたい。
- ◇ 基礎から管理図の読み方、原因追及の仕方など大変丁寧な説明で分かりやすかったです。今後の業務に役立てていこうと思いました。

### アンケート 3

本基礎講座のどのような点が特に役に立ちましたか。（一例）

- ◇ 自施設の精度管理手法が適切なのかを含め、再確認することができた。
- ◇ ピペット検定を自施設で行う際の方法を実際のデータで示していただけで分かりやすかった。
- ◇ 各種ピペットや精度管理試料の取扱い方について、改めて勉強になった。

## アンケート 4

### その他ご意見（一例）

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

今回頂戴しましたご意見に対し、以下の通り、一部ご回答させていただきます。

#### ご意見①

最初の音声が届かなくて、アンケートの回答が遅くなってしまいました

◇ ご意見ありがとうございます。ライブ配信にご参加いただきました皆様には、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。今後は、事前のマイクテスト実施等、対策を講じて参ります。

#### ご意見②：

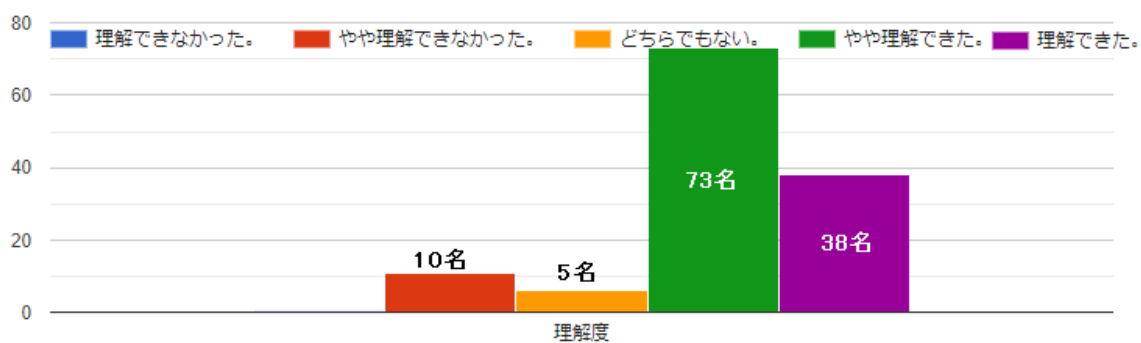
基本的なことを文章で示してもらい、頭で整理しながら聴講することができ大変勉強になった。

◇ ご好評いただきありがとうございます。今後も研究会では、多くの方々へ理解していただけるよう、また、ご施設の業務遂行に役立てられるよう努めてまいります。

## オンデマンド配信

### アンケート 1

「精度管理の考え方」の講義に対する理解度



レポート提出 126 名中、9 割近い多くの方々を理解できたとご回答いただきました。

## アンケート 2

「精度管理の考え方」の講義に対するご意見等ご記入ください。(一例)

- ◇ 精度管理における正確さと精密さと言うところが自分の中で明確ではなかったので、今回しっかり復習し直せて良かった。また、普段、精度管理図を見ていても、ズレとかバラついているというのは目に見えても、どうしてそうなるのか追及できず右往左往することがあったので、今後の参考にさせていただきます。
- ◇ 精度管理を徹底することは検査室の信頼に繋がることを実感しました。
- ◇ 精度管理に関しては苦手意識が強いので、今回の講義で理解を深めることができた部分もあったが、やはり、まだ理解しきれてないところもあった。

## アンケート 3

本基礎講座のどのような点が特に役に立ちましたか (一例)

- ◇ 基礎から丁寧な講義で新人指導に役立つ内容でした。
- ◇ ISOの要求事項をもとに精度管理やSOPに関する項目を学ぶことができ、自施設のISO業務に活かしていきたいと思います。
- ◇ 基礎からとてもわかりやすく教えていただけました。目標値の設定方法など、見直さなければいけない点がわかりました。参考にさせていただきます。

## アンケート 4

その他ご意見

たくさんのご貴重なご意見ありがとうございました。

今回頂戴しましたご意見に対し、以下の通り、一部ご回答させていただきます。

ご意見①：改めてピペット操作の基本から学ぶことができ、良かったです。

- ◇ ご好評いただきありがとうございます。多忙な日々のルーチン業務の中で、何気なく操作している方々も多かったのではないのでしょうか。今後も研究会では皆様の業務に役立てていただけるような内容を発信していけるよう努めてまいります。

ご意見②：いつもためになる研修会をありがとうございます。WEB配信、しかもオンデマンド配信していただくことで県外からも参加でき、大変勉強になります。今後、コロナがおさまっても、全国から簡単に参加できるような体制を維持していただければ幸いです。

- ◇ 多数の遠方参加の方々より同じご意見をいただいております。ご好評いただきありがとうございます。体制に関しては、今後の研究会の課題とし、検討させていただきます。

## ライブ・オンデマンド配信共通設問と正解（○か×）

設問 1) マイクロピペットの操作方法でフォワード法は粘性の低い液体、リバース法は粘性の高い液体の分注に適している。

**正解 1) ○**

設問 2) ピペットの検定には生理食塩水を用いて、通気の有る場所を実施する。

**正解 2) ×**

設問 3) プール血清のメリットとして、反応性がヒト血清に近く、低コストである点が挙げられる。

**正解 3) ○**

設問 4) マトリックス効果とは、目的とする検査対象物以外の試料の構成成分により測定系が受ける影響のことをいう。

**正解 4) ○**

設問 5) 精度管理を行う際、複数濃度の試料を用いる方が良い。

**正解 5) ○**

設問 6) 精度管理において目標値を設定する際、あらかじめ自施設で測定を行い設定するが、測定期間は1週間程度が良い。

**正解 6) ×**

設問 7) 精度管理の許容範囲は、事前に測定を行った結果よりSDを算出し、 $\pm 2SD$  または  $\pm 3SD$  を管理限界とすることが一般的である。

**正解 7) ○**

設問 8) 患者試料を用いた精度管理法として、マルチ・ルール管理法がある。

**正解 8) ×**

設問 9) 外部精度管理の結果を受け取ったら、 $\pm 2SDI$  または  $\pm 3SDI$  を超える項目がないか、思わしくない結果がないかを確認し、該当する評価を認めた場合も原因追及は行わなくて良い。

**正解 9) ×**

## まとめ

2021年度10月基礎講座はライブ配信とオンデマンド配信にて実施させていただきました。ライブ配信は、申し込み120名、レポート提出64名（うち県内34名、県外30名）でした。オンデマンド配信は、申し込み209名、レポート提出126名（うち県内74名、県外52名）でした。ともに多くの方々にご視聴いただけたことを嬉しく思っております。

今回は精度管理をテーマに挙げ、より実務に近い内容で配信させていただき、臨床化学・免疫検査未経験の方からベテランの方々まで幅広くご視聴いただきました。経験年数の少ない方々で「精度管理の講義は少し難しく感じた」との意見が挙がる一方、「再確認できた」、「業務に活かしたい」など日常業務を見直すきっかけとなった意見も多く頂戴いたしました。

日々何気なく実施している精度管理の意味を一人一人が理解し実施していくことで、検査の質をより向上させ、さらには臨床検査の価値も向上していくのだと考えております。

今回の基礎講座が皆様のご施設の精度維持・向上の一助となれば幸いに存じます。

以上

### 作成・回答編集・問い合わせ先：生物化学分析検査研究班

(一社) 半田市医師会健康管理センター 臨床検査事業部

青木 岳史

TEL：0569-27-7882

E-Mail：c1937\_aoki@handa-med.jp